

令和 5 年 4 月 28 日現在

機関番号：13103

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2020～2022

課題番号：20H01706

研究課題名（和文）健康管理に特別な配慮を必要とする子どもの教育的支援に関する地域連携モデルの構築

研究課題名（英文）Regional collaboration model for children with special health care needs

研究代表者

大庭 重治（OHBA, Shigeji）

上越教育大学・大学院学校教育研究科・教授

研究者番号：10194276

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 9,900,000円

研究成果の概要（和文）：小・中学校に在籍する健康管理に特別な配慮を必要とする子どもたちの教育的支援を充実させるには、地域の教育や看護等の関係者間での連携体制の構築が必要である。本研究では、その構築のための検討課題を整理するために、養護教諭、児童生徒、その保護者、大学生を対象とした一連の調査を実施した。その結果から、重点的に配慮を必要とする児童生徒の健康状態、学校における体制整備の課題、研究成果を社会で活用するための課題等を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

近年、地域の小・中学校には、アレルギー疾患の子どもたち、特別な教育的ニーズのある子どもたち、メンタルヘルスケアが必要な子どもたちなど、健康管理に特別な配慮を必要とする子どもが数多く在籍している。そのような子どもたちが豊かな学校生活を送るためには、疾病や障害の管理とともに、その時々々の健康状態、発達状態、学習の進捗状況、情緒の状態などを根拠に基づいて総合的に配慮できる支援体制の整備が必要である。本研究は、このような支援体制の整備に向けた検討課題を明らかにするとともに、各地域において体制を整える際のモデルとなる試案を提示した。

研究成果の概要（英文）：In order to enhance educational support for children enrolled in elementary and junior high schools who need special attention for their health care, it is necessary to build a collaborative system among the people involved in education and nursing in the community. In this study, a series of surveys were conducted on school nurses, pupils and students, their parents, and university students to sort out the issues to be considered for its construction. From the results, the following were clarified: Health condition of pupils and students who need focused attention, problems of system improvement in schools, and problems to utilize research results in society.

研究分野：特別支援教育

キーワード：健康管理 教育的支援 地域連携 児童生徒

## 1. 研究開始当初の背景

地域にある小・中学校の通常の学級には、気管支ぜん息、食物アレルギー、アナフィラキシーなどアレルギー疾患の子どもたち、病弱児、発達障害児など特別な教育的ニーズのある子どもたち、うつ病、不安障害などメンタルヘルスクエアが必要な子どもたちなど、健康管理に特別な配慮を必要とする子どもたち（健康配慮対象児）が数多く在籍している。

近年、学校はこのような子どもたちのニーズに適切に応じるために、教育的支援（合理的配慮）の迅速な提供に努めている。子どもたちが豊かな学校生活を送るためには、疾病や障害の管理とともに、その時々々の健康状態、発達状態、学習の進捗状況、情緒的状态などを総合的に考慮した根拠に基づく支援内容の選定と、その実現に向けた支援体制の整備が必要である。そこで本研究では、Society 5.0 に向かう現代社会において、「健康配慮対象児に安心安全な学校環境を提供するためには、今後どのような支援内容が必要とされるのか」、また「大学をはじめとする地域にある知的資源は、このことに対してどのような役割を果たすことが期待されているのか」について検討することにした。

従来、小・中学校における子どもたちの健康管理に関する支援は、養護教諭と保護者の連携のもと、主に疾病や障害のある子どもたちの心身の健康維持のための管理が中心となっており、各学校の養護教諭を中心とした校内委員会において、限られた情報資源の中で検討されてきた。これまでも、地域が子どもたちの健康増進に貢献しようとする取組は散見されるが（永野他 2008；勢井他，2009 など）、それらの研究成果を学校における支援に組織的に活用するための方策については、今後の検討課題であると考えられた。また、子どもの健康管理に関する研究は、それぞれの専門分野において個別に検討が進められており、分野を超えた研究連携の成果はみられなかった。このようなことから、健康配慮対象児の支援の中核となる養護教諭や学級担任を支える多分野複合的な地域連携体制の構築が必要であると考えられた。

## 2. 研究の目的

学齢期の子どもの健康管理には、教育、看護、医療等に関する多様な専門的知識が求められる。本研究の最終的な目的は、健康配慮対象児への教育的支援の充実に向け、地域にある教育や看護等に関する研究シーズを共有化し、そのシーズを地域の学校において有効活用していくための地域連携モデルを試行的に策定し、その必要性を提案することであった。

この目的を達成するために、本研究では以下の具体的目標を設定した。

- (1) 健康配慮対象児の支援において中心的役割を果たす養護教諭が、学校生活の中で具体的に提供している支援の内容と、その実現に向けた改善課題を明らかにする。
- (2) 学校において健康配慮対象児及びその保護者が、学校生活における健康管理のために、どのような支援内容や支援体制の充実を望んでいるのかを明らかにする。
- (3) 特別支援教育、ヘルスクエア、看護学を学ぶ学生が、学校教育における子どもたちの健康管理に関してどのような意識を持ち、また現在の学校におけるその支援の重要性をどの程度認識しているのかを明らかにする。
- (4) 地域連携モデルの策定に向けた最新の情報を収集するために、国内外の学会等において情報の収集を行い、教育、看護、医療等の地域における連携の動向を把握する。

## 3. 研究の方法

子どもたちの健康管理に関する現在の支援ニーズを把握するために、多角的なニーズ調査を実施した。また、健康管理に関する情報を収集するために、国内外の学会等に参加した。一方、それらの調査結果を含む研究シーズを広く地域に紹介するために公開自主セミナーを開催し、また論文等により研究成果を公表した。これらの活動を通して得られた知見をもとに当面の検討課題を整理し、最終的には子どもたちの健康管理に関する地域連携モデルを試行的に策定した。

### (1) ニーズ調査等の実施

養護教諭を対象とした調査では、特にメンタルヘルスに関する健康管理支援に注目し、関連する問題を抱える児童生徒に対する学校における支援の実態を明らかにするためのアンケートを実施した。対象者は、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の養護教諭 780 名である。

児童生徒を対象とした調査では、学校生活における健康状態と学校生活における健康管理支援に関する児童生徒のニーズを明らかにするためのアンケートを実施した。対象者は、学校長から承諾が得られた学校の小学 5 年生及び中学 2 年生の児童生徒 1,010 名である。

保護者を対象とした調査では、学校生活における子どもの健康状態に関する保護者の気付きと健康管理支援に関する保護者のニーズを明らかにするためのアンケートを実施した。対象者は、学校長から承諾が得られた学校の小学 5 年生及び中学 2 年生の保護者 1,010 名である。

大学生を対象とした調査では、教育学部と看護学部の学生が、学校教育における子どもたちの健康管理に関してどのような意識を持ち、また現在の学校におけるその支援の重要性をどの程

度認識しているのかを明らかにするためのアンケートを実施した。対象者は、教育学部の学生735名、看護学部の学生285名である。

### (2)情報の収集

日本学校保健学会、新潟県学校保健学会、室内環境学会、日本特殊教育学会、日本発達障害学会、日本教育心理学会、アメリカ心理学会等において関連する情報の収集を行った。

### (3)公開自主セミナーの開催

本研究に関連するテーマを取り上げたセミナーを計7回開催した。セミナーはリアルタイムのオンラインにより実施した。セミナーの案内は、市内の全小中学校と近隣特別支援学校の学校長、及び県内の養護教員研究協議会の会員に送付した。

## 4. 研究成果

一連の調査結果、公開自主セミナー後のアンケート結果、学会における情報収集などを通して、健康配慮対象児の支援の充実に向けた当面の検討課題を整理することができた。

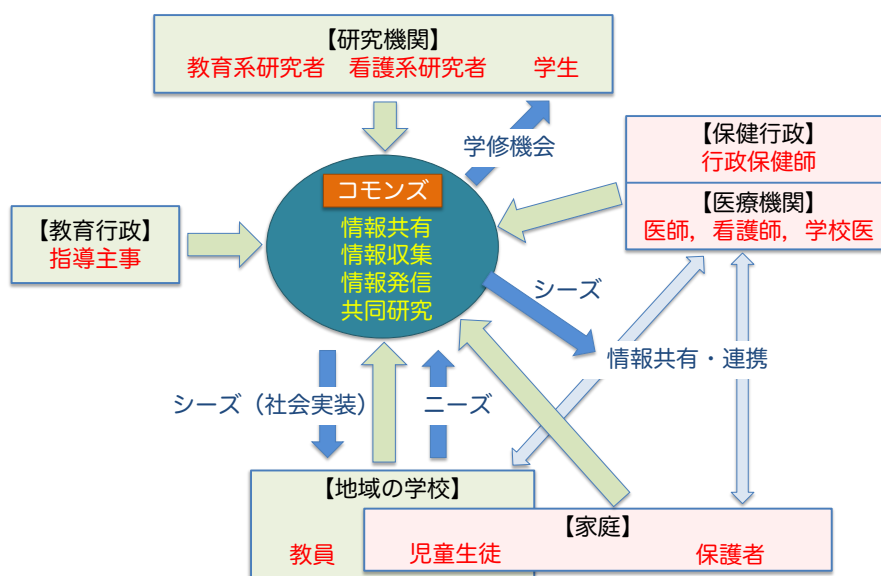
まず、支援の内容や方法の検討が特に必要とされる健康状態として、心のケア（メンタルヘルス）、アレルギー、化学物質過敏症、熱中症などが指摘された(永吉他, 2021 など)。

このような児童生徒のニーズに応じるための学校における体制整備の課題として、健康管理に関する校内研修の充実、学校と医療（行政保健、医療機関、学校医）の情報共有・連携体制の構築、プライバシーを保つことができる状況下での相談方法の工夫、児童生徒自身が心身の健康に関心を持ち、セルフケアができるようになるための健康教育の充実、健康状態のモニタリングなどを含めた児童生徒本人の支援過程への参画などが明らかにされた(留目他, 2022 ; 永吉他, 2023 など)。

また、研究成果の社会実装に向けた課題として、医療機関に受診した後の対応のための説明資料の作成、オンラインストレージ、個別の教育支援計画、学校生活管理指導表などの活用を通じた支援者間の連携手段の開発、公開セミナー、公開講座、出前講座、講演会等を通じた大学生に対する専門外の内容に関する学修機会の提供、同様の機会を活用した保護者に対する研究情報の発信などが明らかにされた(笠原他, 2023 ; 大久保他, 2023 など)。

本研究の遂行においては、研究機関に所属する大学教員を中心とした「地域連携コモンズ」を形成し、調査の実施や公開自主セミナーの運営にあたった(大庭他, 2022)。その過程において明らかにされたさらなる検討が必要であると考えられる諸課題の整理を通して、今後の連携の方向性を示すための新たな地域連携モデルの試案を策定した(図1)。健康配慮対象児に対する各地域の実状に応じた支援体制の充実には、その地域に存在する教育、看護、医療等に関する研究シーズを最大限に活用していく取組が必要である。研究機関に所属する者のみならず、教育行政や医療機関の関係者、また地域の学校の教員や保護者が地域連携コモンズに参画することにより、包括的な健康管理支援体制を構築していくことができると考えられる。開催した公開自主セミナーでは、地域の教員の他、大学生や高校生の参加を得ることができたが、地域連携コモンズがその機能を十分に果たすためには、特に医療関係者及び児童生徒本人やその保護者の参画を積極的に促すための工夫も必要である。また、家庭と保健行政・医療機関の連携に加え、学校と保健行政・医療機関が臨機応変に連携できる仕組みの構築が求められており、地域連携コモンズはその構築における役割も期待されている。

図1 新たな地域連携モデル（試案）



<引用文献>

- 笠原芳隆他，健康管理に特別な配慮を必要とする子供の支援者間連携—個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成・活用を通して—，上越教育大学特別支援教育実践研究センター紀要，29，2023，9-13.
- 永野光子他，A 看護系大学の地域貢献活動に関する研究—小・中学校の養護教諭との連携の可能性，医療看護研究，4，2008，79-82.
- 永吉雅人他，小・中学校における健康管理に関する特別な配慮についての養護教諭の問題認識—新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大直前に実施したアンケート調査の結果より—，上越教育大学特別支援教育実践研究センター紀要，27，2021，27-33.
- 永吉雅人他，児童・生徒の健康状態と学校生活における健康管理支援へのニーズ，上越教育大学教職大学院研究紀要，10，2023，175-183.
- 大庭重治他，健康管理に特別な配慮を必要とする子どもの教育的支援に関する地域連携の取組，上越教育大学特別支援教育実践研究センター紀要，28，2022，47-49.
- 大久保明子他，学校生活における子どもの健康状態に関する保護者の気付きと健康管理支援へのニーズ，新潟県立看護大学紀要，12，2023，17-22.
- 勢井雅子他，徳島県における多機関連携による小児の生活習慣病予防活動研究，日本公衆衛生雑誌，56，2009，163-171.
- 留目宏美他，メンタルヘルスに関する問題を抱える児童生徒に対する支援の実態—校種及び校内支援体制による比較—，上越教育大学研究紀要，41(2)，2022，347-357.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計12件（うち査読付論文 3件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 11件）

1. 著者名 留目宏美・永吉雅人・池川茂樹・大庭重治	4. 巻 42
2. 論文標題 メンタルヘルスに関する問題を抱える児童生徒に対する支援の実態 - 養護教諭の経験年数及び現任校の勤務年数による比較 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 上越教育大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 123-132
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 永吉雅人・大久保明子・伊藤ひかる・境原三津夫・大庭重治	4. 巻 10
2. 論文標題 児童・生徒の健康状態と学校生活における健康管理支援へのニーズ	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 上越教育大学教職大学院研究紀要	6. 最初と最後の頁 175-183
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 留目宏美・永吉雅人・大庭重治	4. 巻 10
2. 論文標題 メンタルヘルスに関する問題を抱える児童生徒に対する支援の実態 - 地域の精神医療体制による比較 -	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 上越教育大学教職大学院研究紀要	6. 最初と最後の頁 195-204
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 野村萌花・留目宏美・永吉雅人	4. 巻 10
2. 論文標題 貧困状態にある子どもに対する校内支援に影響する要因の分析	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 上越教育大学教職大学院研究紀要	6. 最初と最後の頁 185-194
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 大久保明子・伊藤ひかる・永吉雅人・境原三津夫	4. 巻 12
2. 論文標題 学校生活における子どもの健康状態に関する保護者の気がかりと健康管理支援へのニーズ	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 新潟県立看護大学紀要	6. 最初と最後の頁 17-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15061/00001598	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 笠原芳隆・大庭重治	4. 巻 29
2. 論文標題 健康管理に特別な配慮を必要とする子供の支援者間連携 - 個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成・活用を通して -	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 上越教育大学特別支援教育実践研究センター紀要	6. 最初と最後の頁 9 - 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大庭重治・境原三津夫	4. 巻 28
2. 論文標題 健康管理に特別な配慮を必要とする子どもの教育的支援に関する地域連携の取組	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 上越教育大学特別支援教育実践研究センター紀要	6. 最初と最後の頁 47-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大和仁美・藤岡菜里・本間愛菜・水野結衣子・峯村将之・土田了輔・坂口嘉菜・藤井和子・笠原芳隆	4. 巻 28
2. 論文標題 各地の教育委員会等における特別支援教育に関する手引等の作成状況について	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 上越教育大学特別支援教育実践研究センター紀要	6. 最初と最後の頁 51-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 留目宏美・永吉雅人・池川茂樹・大庭重治	4. 巻 41(2)
2. 論文標題 メンタルヘルスに関する問題を抱える児童生徒に対する支援の実態 - 校種及び校内支援体制による比較 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 上越教育大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 347-357
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大久保明子・野口裕子	4. 巻 11
2. 論文標題 学童・思春期にある医療的ケアを必要とする児を養育する母親の体験	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 新潟県立看護大学紀要	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 永吉雅人・大庭重治	4. 巻 27
2. 論文標題 小・中学校における健康管理に関する特別な配慮についての養護教諭の問題認識 - 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 感染拡大直前に実施したアンケート調査の結果より -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 上越教育大学特別支援教育実践研究センター紀要	6. 最初と最後の頁 27-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 上野光博	4. 巻 852
2. 論文標題 学校医の現状と専門校医、専門相談医について～健康相談、保健指導の推進は可能か～	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 新潟県医師会報	6. 最初と最後の頁 9-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計6件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 千田涼夏・上野光博・留目宏美
2. 発表標題 養護教諭が医療機関と連携したい児童生徒の健康課題について
3. 学会等名 新潟県学校保健学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 永吉雅人・留目宏美・大久保明子・伊藤ひかる・境原三津夫・大庭重治
2. 発表標題 生徒に対する支援の実態および香害に関する児童・生徒とその保護者の認識
3. 学会等名 室内環境学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大庭重治・境原三津夫
2. 発表標題 健康管理に特別な配慮を必要とする子どもの支援に関する地域連携の取組
3. 学会等名 日本発達障害学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大庭重治・永吉雅人
2. 発表標題 小・中学校における健康管理に関する養護教諭の問題認識と配慮内容: COVID-19感染拡大直前のアンケート調査より
3. 学会等名 日本教育心理学会
4. 発表年 2021年



1. 発表者名 留目宏美
2. 発表標題 メンタルヘルスに関する問題を抱える児童生徒に対する個別支援計画の立案と支援体制、配慮の関連
3. 学会等名 日本学校心理学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鈴木地平・八島猛
2. 発表標題 神経・筋疾患成人における主観的QOLの規定要因
3. 学会等名 日本特殊教育学会
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	笠原 芳隆  (KASAHARA Yoshi taka)  (60293271)	上越教育大学・大学院学校教育研究科・教授   (13103)	
研究分担者	八島 猛  (YASHIMA Takeshi)  (00590358)	上越教育大学・大学院学校教育研究科・教授   (13103)	
研究分担者	佐藤 将朗  (SATO Masaaki)  (30352561)	上越教育大学・大学院学校教育研究科・准教授   (13103)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	坂口 嘉菜 (SAKAGUCHI Kana)  (40814067)	上越教育大学・大学院学校教育研究科・講師  (13103)	
研究分担者	上野 光博 (UENO Mitsuhiro)  (90260546)	上越教育大学・その他部局等・特命研究員  (13103)	
研究分担者	留目 宏美 (TODOME Hiromi)  (20516918)	上越教育大学・大学院学校教育研究科・准教授  (13103)	
研究分担者	池川 茂樹 (IKEGAWA Shigeki)  (30611339)	上越教育大学・大学院学校教育研究科・准教授  (13103)	
研究分担者	境原 三津夫 (SAKAIHARA Mitsuo)  (30332464)	新潟県立看護大学・看護学部・教授  (23101)	
研究分担者	高柳 智子 (TAKAYANAGI Tomoko)  (90313759)	新潟県立看護大学・看護学部・教授  (23101)	
研究分担者	大久保 明子 (OKUBO Akiko)  (70279850)	新潟県立看護大学・看護学部・教授  (23101)	
研究分担者	永吉 雅人 (NAGAYOSHI Masato)  (70426542)	新潟県立看護大学・看護学部・准教授  (23101)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	葉石 光一  (HAISHI Koichi)  (50298402)	埼玉大学・教育学部・教授    (12401)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関